

② 新潟工科大学 建築計画Ⅰ					
担当教員	木戸 久美子		実務授業の有無		
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、基準にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 講義-小テスト-解答-解説を繰り返すことで重要性を理解する。				
学習目標 (到達目標)	建築物の事例から、平面計画を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。また、健育士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考文献・その他資料	①図説 やさしい建築計画 (学芸出版社)				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	建築計画の基本知識-1 ①単位と寸法 ・建築で使用される長さ及び面積の単位	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
2	建築計画の基本知識-2 ①人体寸法と動作寸法 ・人間工学に基づく人体寸法と動作寸法	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
3	建築計画の基本知識-3 ①建築計画の進め方 ・モジュールとモジュールコーディネーション ②建築計画の進め方 ・動線計画 (ゾーニング・グルーピング) ・動線計画、設備計画、避難、防災計画	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
5	各部および単位空間の計画-1 ①各部の計画、各部の種類、寸法計画について ・廊下、窓、壁の仕様、階段・スロープの寸法と勾配	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
6	各部および単位空間の計画-2 ①単位空間の計画 ・廊下、便所、浴室、各室の寸法計画	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
7	小テスト①	項目1～6から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目1～6を教科書、プリントなどで復習			
8	高齢者・障害者に配慮した建築計画-1 ①ユニバーサルデザインと建築計画 ・ノーマライゼーションの考え方やユニバーサルデザイン	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
9	高齢者・障害者に配慮した建築計画-2 ①バリアフリー計画の要点 ・車イス利用の通行空間、設備の必要寸法	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①の学習 準備学習：教科書①の学習			
10	地球環境に配慮した建築計画 ①持続可能性、環境に配慮した計画の概念	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
11	小テスト②	項目8～10から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
期末試験、小テスト・授業態度を総合的に評価します。 期末試験70%、小テスト20%、授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への実用を促げる。また受験時に小テストを行い習熟度の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかり理解させる。習熟度を上げるために、試験前の復習については、十分な解説を行う。			
実務経験教員の経歴					

② 新潟工科大学 建築計画Ⅰ					
担当教員	木戸 久美子		実務授業の有無		
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、基準にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 講義-小テスト-解答-解説を繰り返すことで重要性を理解する。				
学習目標 (到達目標)	建築物の事例から、平面計画を学び、建築設計に活かせる知識を習得する。また、健育士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考文献・その他資料	①図説 やさしい建築計画 (学芸出版社)				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	集合住宅の分類 ①住居タイプの特徴	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
2	集合住宅の配置 ①住戸計画・共用部分	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
3	①住宅地計画と近隣環境	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
4	小テスト②	項目1～4から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
5	高齢者・障害者に配慮した建築計画-1 ①ノーマライゼーションの考え方やユニバーサルデザインについて	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
6	高齢者・障害者に配慮した建築計画-2 ①バリアフリー計画の要点 ②車イス利用の通行空間・設備の必要寸法	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
7	地球環境に配慮した建築計画 ①持続可能性、環境に配慮した計画の概念	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
8	小テスト③	項目5～7から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
期末試験、小テスト・授業態度を総合的に評価します。 期末試験70%、小テスト20%、授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への実用を促げる。また受験時に小テストを行い習熟度の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかり理解させる。習熟度を上げるために、試験前の復習については、十分な解説を行う。			
実務経験教員の経歴					

② 新潟工科大学 建築計画Ⅱ					
担当教員	原塚 茂		実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	・非住宅建築物設計の建築計画、考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、基準にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 講義-小テスト-解答-解説を繰り返すことで重要性を理解する。				
学習目標 (到達目標)	・非住宅建築物の、建築計画(環境計画・動線計画・平面計画・断面計画・設備計画・用語)を学び建築物の事例から建築設計に活かせる知識を習得する。また、健育士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考文献・その他資料	図説 やさしい建築計画 (学芸出版社) ・補足資料				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	建築計画各論 ①小学校、中学校 ②校舎の配置方式と構成 ③配座・動線計画と必要諸室	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
2	幼稚園・保育所 ①幼児乳児に配慮した施設計画と各部計画	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の学習			
3	小テスト①	項目1～2から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
4	図書館 ①必要諸室の配置計画と図説 ②書架形式と用語	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
5	博物館・美術館 ①構成と動線計画 ②図説形式 ③照明計画と用語	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
6	小テスト②	項目4～5から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
7	劇場・映画館 ①構成と構成・動線計画 ②書架形式、客席・書架計画	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
8	事務所 ①高層ビルの基本計画 ②レイアウト計画、用語	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
9	小テスト③	項目7～8から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
10	ホテル ①宿泊施設の種類の構成 ②客室計画、用語	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
11	病院・診療所 ①診療施設の構成と配置計画 ②各部計画と用語	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
12	小テスト④	項目10～11から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
13	商業施設 ①飲食店と物品販売店の動線計画 ②寸法計画、用語	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
14	小テスト⑤	項目13から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
15	その他の施設/ 高齢者施設 ①高齢者福祉施設の種類の構成 ②各部計画	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
16	その他の施設/ 駐車場・駐輪場 ①駐車場・駐輪場の種類と必要寸法	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
17	その他の施設/ スポーツ施設 ①スポーツ施設の種類の構成 ②競技ごとの寸法計画	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
18	その他の施設/ コミュニティ施設 ①コミュニティ施設の種類の構成 ②動線計画を学ぶ	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の学習			
19	小テスト⑥	項目15～18から抜粋し小テストで理解度の確認、解答-解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
小テスト・期末試験・授業態度を総合的に評価します。 小テスト30%、授業態度10%、期末試験60% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。		建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への実用を促げる。また受験時に小テストを行い習熟度の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかり理解させる。習熟度を上げるために、試験前の復習については、十分な解説を行う。			
実務経験教員の経歴 建築設計、監理業務に43年業務に携わってきた					